

4月は雑誌月間です
THE WEEKLY REPORT

R I 第 2820 地区

水海道ロータリークラブ

2009-2010年度 テーマ

増やそう 新しい仲間たち！
開こう 未来への扉を！



2009-2010 年度 R I 会長
ジョン・ケニー

次回例会予定 4月21日 外部卓話 長谷川典子市長
4月28日 振替休会(地区大会)

VOL. 47 No. 32 (通算No. 2234)

2010年4月14日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話 (株)日本設計情報技術センター
部長 遠藤栄治様



「かすみがうら市の果樹園にて」

写真提供:石塚 克己会員

2009 - 2010年度

会長 田 上 秀 雄

幹事 武 藤 康 之

創立 1963年9月25日

例 会 場 ・ 例 会 日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事 務 所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.47 No.31 (No.2233) 4月7日(水)曇り (司会 斎藤広巳委員長)

本例会での主な事項

会長挨拶

外部卓話 松井 実様(古河東RC会長)

ピジター

古河東RC会長 松井 実様

誕生祝



会員 3月 染谷正昭会員
配偶者 染谷(正)会員



4月 鈴木 豊会員



福谷正典会員挨拶



ロータリーに入会して3年たちましたが、この度本社へ移転することになりました。後任には亀崎というものになります。皆様とも仲良くなれましたのに、とても残念です。今後とも宜しくお願い致します。有難うございました。

諸報告

雑誌委員会 鈴木 豊委員長

ロータリーの友4月号の紹介

横組み P1 ロータリーを結ぶ ロータリーの雑誌

P6～P11 ロータリー雑誌の仲間たち

縦組み P22 ロータリーアットワーク 山崎直子さんを招き宇宙少年団を結成！

P23 ロータリーアットワーク 市内各所にベンチ寄贈(水海道RC)

ご一読頂ければと思います。

幹事報告 武藤康之幹事

週報受理クラブ 牛久RC

例会変更通知 牛久RC 4月18日(日) 移動例会

会長挨拶 田上秀雄会長

皆さん、こんにちは。本日は松井 実様、ようこそいらっしゃいました。松井様には後ほど卓話をしていただきますのでよろしくお願い致します。

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT



今日は季節柄、お花見についてお話しします。まだ暦がなかった大昔の頃に農耕を営む私達の祖先は、どうやら桜の花の開花を目安に季節を知り、毎年のお花見の咲き方の状態とその年の豊作を占っていたそうです。あせた色の桜の花は夏の天候が良好な兆し。白い花が多いと豊作になり、桜が上向きに開花すると凶作になるとか色々と言われているようです。今では『日本の国花』といわれる美しい白色や淡桃色の五弁の桜は古代から日本人に愛され、奈良時代には庭に植えられ始めました。お花見が今のような宴会の形になったのは平安時代あたりからと言われています。

さて、最後にご報告ですが3月25日笠間ロータリークラブ50周年記念式典に白井会員、大塚会員と共に参加しました。とてもまとまった良い式典でした。水海道ロータリークラブも3年後に50周年を迎えます。私達も素晴らしい式典になるよう準備をしておりますが、今後とも皆様のご協力をお願いしたいと思います。

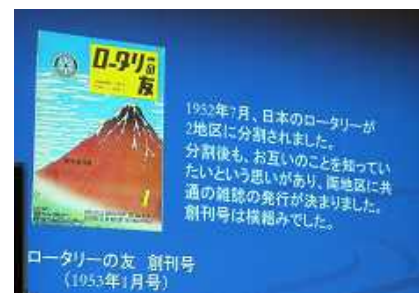
外部卓話



水海道ロータリークラブの皆様こんにちは。古河東ロータリークラブの松井実でございます。この度、鈴木豊雑誌委員長さんの要請により、お邪魔させていただきました。鈴木豊さんは、土地家屋調査士会入会に関しても、私の3年先輩であり、支部長職も先輩の後を受け、勤めさせていただいたことがあります。先輩は、様々な分野に造詣が深く、企画、実行と、素晴らしい体験をさせていただき、もっぱら感動と憧れの存在でありました。本来は、ロータリーの友委員、土浦南ロータリークラブの齊田正一さんに、お願いいただけたらと思いましたが、先輩から、役を引き受けたなら、しっかり勉強せよと諭され、このときを迎えることとなりました。現在、名ばかりの委員でございますので、皆様のご質問については、お答えできかねますが、5月10日にオリエンテーションが開催されますので、その折、お伺いいたしてまいりたいと思います。幸い、『ロータリーの友』についてのパワーポイントが、公開されておりますので、『ロータリーの友』について(パワーポイントの説明)を記させて、戴きます。

ロータリーの友では、印刷媒体の『ロータリーの友』と電子媒体の『Rotary Japan』を通じて、ロータリーに関するさまざまな情報を提供しています。

『ロータリーの友』の発行部数は、10万200部(2010年4月号)です。発行部数が一番多いときは、約14万部発行していましたが、日本の会員減少に伴い、年々発行部数は減少しています。価格は210円(本体200円 消費税10円)です。本体価格200円というのは1975年1月号からで、今日に至るまで、コストの見直し、新しい技術の導入などにより、価格を維持しています。



1952年7月、それまで1地区だった日本の地区が2地区に分

割されました。分割後もお互いの地区のクラブや会員の活動状況、意見を知りたい、共有したいという思いがあり、両地区に共有の雑誌の発行が決まりました。それが『ロータリーの友』です。創刊は、1953年1月号。最初は横組みだけでした。



横組みと縦組みが分かれた現在のようになったのが、1972年1月号からです。その第1号の表紙には、陣羽織の前からの写真と後ろからの写真が使われ、両面が表紙という雑誌の特徴をうまく生かしています。

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

現在、横組みには、ロータリーの特別月間に関する特集、ロータリー地域雑誌(次のスライドで説明)としての公式的な記事を中心に掲載しています。縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる記事を掲載しています。投稿が中心です。

1979年7月号からの1年間の試験期間を経て、1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリー(RI)の公式地域雑誌になりました。現在は、この呼び方が変わり、『ロータリー地域雑誌』と読んでいます。『THE ROTARIAN』というRI本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌と、31の地域雑誌を合わせて、『ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS』と言います。(各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌4月号横組みP6~7に掲載)

地域雑誌には守らなければならないいくつかの規則がありますが、その一つが『THE ROTARIAN』の記事で、指定されたものを翻訳して掲載しなければならないというものです。これらの記事を「RI指定記事」と呼んでいて、タイトルの部分にロゴマークを入れています。



2008-09年度から、RI指定記事として「Global Outlook」が加わりました。これまでも掲載していた8月号の「ロータリーの基礎知識」に加え、11月号、2月号、5月号に挿入されています。「ポリオ撲滅」「識字率向上」など、国際ロータリーで力を入れている活動について、テーマ別に特集が組まれています。

ロータリーの活動をロータリアンばかりではなく、ご家族の皆さまにも知ってもらいたい、そんな意図から、家族向けのページがスタートしました。『友』誌は、自宅にもち帰って、リビングルームなど、家族の目に付くところに置いておいてください。

参加者が並んで写した記念撮影や集合写真は、そこに参加していない他クラブの会員が見ても興味をもつことができません。また、それでは、活動の様子を想像することも困難です。したがって、『ロータリーの友』には、そのような写真を掲載していません。投稿されるときは、活動の様子がよくわかる生き生きとした写真をお送りください。

あれもこれも知ってもらいたいという気持ちはわかりますが、掲載文字数が少ないので、他クラブの人が興味をもちそうなこと、他クラブの参考になりそうな事柄一つ程度に的を絞って原稿を書いてください。また、日本全国の方々が読者ですから、皆さまの街のことを知らない方も多くいます。そういった方にも理解していただけるように原稿を書いてください。活動日かわかるようにしてください。

古くなった記事は、なかなか読んでいただけません。原稿や写真は、活動後1ヶ月以内にお送りください。古いものは掲載していません。

『Rotary Japan』という名前で、ホームページを開設しています。



日本国内全クラブの例会一覧表が載っています。ホームページを開設しているクラブは、その例会一覧表にリンクしてありますから、メイクアップの際に、事前にどのようなクラブが調べていくと、そのクラブの方々と一緒に話ができると思います。ロータリーの最新情報や、さまざまな資料もここで提供しています。ロータリアン以外の人々に、ロータリーを知っていただくためのコーナーもあります。

クラブや地区で広報への関心が高まってきていますが、何か広報のために使える冊子がほしいという声にお応えして、2008年8月、広報誌『ROTARY 世界と日本』を創刊、2009年にアップデートした再版を制作しました。A5判16ページの小冊子で、1セット(10冊)で525円(本体価格500円 消費税25円)です。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会や、地域でのイ

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

イベントの際にロータリアンでない人々に配ってください。

2009年8月、「会員勧誘用」として、新しい冊子『ROTARY あなたも新しい風に』を創刊しました。奉仕活動ばかりではなく、例会や親睦などについての項目もあります。B5判12ページの小冊子で、1セット(5冊)で420円(本体価格400円 消費税20円)です。

広報誌『ROTARY 世界と日本』と一緒に会員候補者または新会員にお渡しいただければ、短時間でロータリーの概要を理解してもらうことができます。

ロータリーの中といえども、原稿や写真は著作権法などの法律で保護されています。『ロータリーの友』『Rotary Japan』の記事を使用される場合は、必ずロータリーの友事務所にご連絡をください。また、市役所、その他のホームページから、皆さまのクラブのホームページや週報などの冊子に写真などを無断で使用することもできません。

『ロータリーの友』『Rotary Japan』の編集は、ロータリアンやロータリークラブの素晴らしい活動がなければできません。また、それらの活動についてお知らせいただかなければできません。ロータリアンと編集者が協同して、初めて素晴らしい雑誌とホームページが出来上がります。

より良い『ロータリーの友』のために、ご協力をお願いいたします。

ということで、既にご覧の方も含め、再度の認識をということで、ご覧戴きました。ありがとうございました。



出席報告 (福田克比古委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
54名	44名	10名	0名	10名	100.00%

ニコニコボックス 鈴木勝久委員

入金計 ¥56,000 累計 ¥1,728,000

誕生祝御礼 会員 染谷(昭)・鈴木(豊) 各会員 配偶者 染谷(正)会員

松井様、ようこそいらっしゃいました。卓話宜しく願います。 田上会員

松井会長、今日は宜しく願います。 鈴木(豊)会員

松井様、本日卓話宜しく願ひ申し上げます。 松村会員

松井様卓話宜しく願ひします。 門脇会員

孫が中学に入学いたしました。 松坂会員

ロータリーでお世話になった孫が、つくば大学入学しました。 長塚会員

ロータリーの友に記事が載りました。 五木田(利)会員

少しだけ嬉しい事がありました。桜もきれいですね。 青木(正)会員

桜も満開になりました。皆様の心はいかがでしょうか? 福田会員

皆様、お久しぶりです。例会に出席できました。宜しく願ひします。 穂戸田会員

色々お世話になりました。 福谷会員

その他 横山会員

例会欠席しました。 草間・山野井・染谷(正)・古谷・二本松 各会員

長く欠席致しました。 染谷(昭)会員

会報委員会

染谷正美委員長

秋田政夫副委員長

石塚幸一郎委員

4月は雑誌月間です

THE WEEKLY REPORT

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、

ロータリーの3万3,000を超えるクラブの一つひとつは、それぞれの地域社会で、同様に、国際的にも何らかの形で重要な奉仕活動を実施しています。ロータリーの組織においては、こうした私たちの取り組みを支持し鼓舞するより広いネットワークのもとで、それぞれのクラブが独立して活動しています。

そのネットワークの重要な一つが『The Rotarian』と、25の異なる言語を使って発行されている、31の地域雑誌からなる『ロータリー・ワールド・マガジン・プレス(Rotary World Magazine Press)』なのです。

どの地域のロータリアンも情報を共有

このことが、すべてのロータリークラブの会員に『The Rotarian』、あるいは地域雑誌のどれか一つの購読を義務づけているゆえんです。これらの出版物は私たちにほかのクラブや地区のニュースを知らせ、私たちのプロジェクトに新しいアイデアを提供するとともに、私たちに同僚ロータリアンたちとの間により強い絆を感じさせる役割を果たしています。

また、各号に掲載されているRI指定記事は、エバンストンにある私たちの世界本部と、世界各地に住んでいるそれぞれのロータリアンを、直接結んでいます。

ロータリー雑誌のメッセージをただ読んでいるという皆さんのこの瞬間の経験も、どの国や地域にいるロータリアンとも共有しているのです。RIの指定記事はどの雑誌でも同じです。それは一つの共通のメッセージであり、一つの共通の経験なのです。それは計り知れないほど重要なもので、何ものにも替えがたいものなのです。

たった1年限りの、1か月にただ1度の機会

すべてのロータリーの雑誌に掲載される会長メッセージを書くため机に向かうとき、私はそれが、会長の職に就いているたった1年限りの、1か月にただ1度の機会であることを認識しています。それは、120万の会員一人ひとりに、直接、私自身の言葉で話しかけることができる機会なのです。

私がどれほど各地を回り、幾度となく人々に話しかけ、私のメッセージを各クラブや地区に届ける努力を重ねたとしても、このページに400語のメッセージを載せるにまさる特典はありません。というのも、世界各地で発行されているすべてのロータリーの雑誌が、私が書いた通り、あるいはそれぞれの言語に翻訳した上で私のメッセージを掲載しているからです。私は、これらの出版物が作り出す可能性を高く評価していますから、このような機会を大切に思っています。

4月は雑誌月間、ロータリアンであることの、この大切な恩恵を皆さんのクラブの奉仕活動にどう生かすかを考え、役立つ情報をほかの人たちと共有するのにまさにふさわしいときです。

JOHN KENNY

PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

